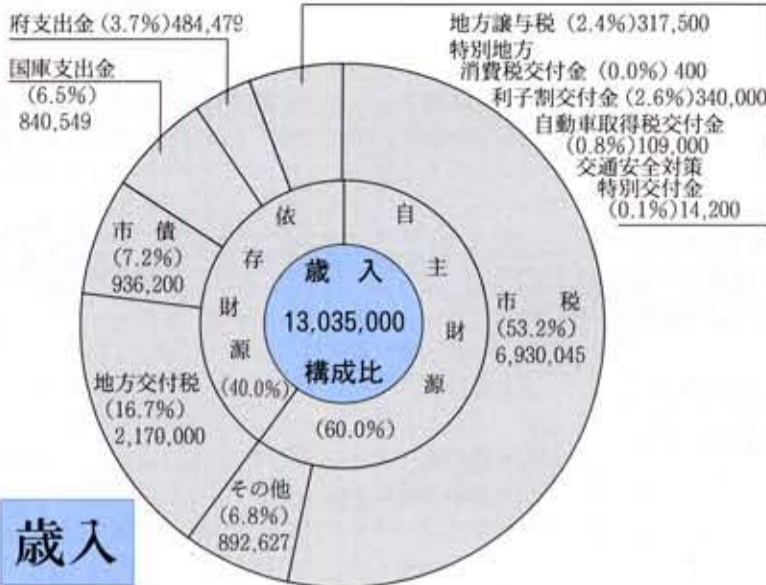


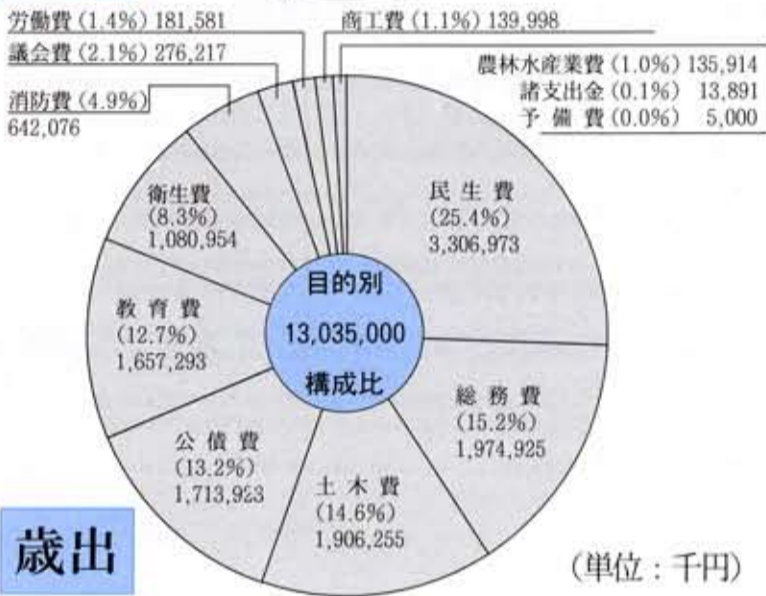
### 一般会計予算構成グラフ

# 232億8,340万1千円

## 平成7年度予算総額



### 歳入



### 歳出

(単位:千円)

**緊急・継続的な事業を中心に予算化**  
**災害対策費の充実も**

平成7年度の予算総額は232億8340万1千円で前年度と比較して9・3%減の骨格予算となっております。4月の市長選挙を控え新規事業などを極力抑えています。しかし、継続的事业及び、急務を要する事業には所要の経費を計上し、都市基盤や福祉施策の充実を図り、市民のみなさんのニーズに応えています。特に、今年度は阪神大震災の被害を教訓にし、災害対策費等に新規事業費を計上しています。

### 一般会計

#### 歳出

平成7年度の一般会計予算額は、130億3500万円で、前年度と比べて31億2500万円の減、率にして19・3%のマイナスになっています。この予算額は、市民1人当たりで約24万6千円になります。歳出を目的別にみると、民生費は33億697万3千円で全体の25・4%、総務費は19億74925千円で全体の15・2%、教育費は16億57293千円で12・7%、衛生費は10億80954千円で8・3%、土木費は19億06255千円で14・6%、公債費は17億13923千円で13・2%、労働費は181,581千円で1・4%、議会費は276,217千円で2・1%、消防費は642,076千円で4・9%、農林水産業費は135,914千円で1・0%、諸支出金は13,891千円で0・1%、予備費は5,000千円で0・0%、商工費は139,998千円で1・1%です。

#### 歳入

歳入の主なものには市税、地方交付税、市債、国・府支出金などです。市税は69億3004万5千円で全体の53・2%、市民1人当たりの市税は約13万円になります。地方交付税は21億7000万円で16・7%、市債は936,200千円で7・2%、国・府支出金は840,549千円で6・5%、衛生費は10億80954千円で8・3%、土木費は19億06255千円で14・6%、公債費は17億13923千円で13・2%、労働費は181,581千円で1・4%、議会費は276,217千円で2・1%、消防費は642,076千円で4・9%、農林水産業費は135,914千円で1・0%、諸支出金は13,891千円で0・1%、予備費は5,000千円で0・0%、商工費は139,998千円で1・1%です。

### 特別会計

#### 国保会計

国民健康保険事業特別会計では22億5334万1千円を計上しました。これは対前年度比で2・4%の伸びとなっています。

#### 水道会計

水道事業会計では、収益的支出で12億9百万円、資本的支出で3億9745万円で合計16億645万円で計上しました。市民の皆さんに安心して飲用して頂ける良質な水の提供に努めるため、給配水施設の維持管理に万全を期します。

#### 老人保健医療会計

老人保健医療特別会計では、65歳から69歳までの障害のあるお年寄りや、70歳以上のお年寄りのための医療の給付に必要な経費として30億2795万円を計上しました。

#### 大字寺戸財産区

大字寺戸財産区特別会計では、566万4千円を計上しました。大字寺戸財産区の財産維持管理経費や運営経費を計上したものです。

#### 物集女財産区

物集女財産区特別会計では、1499万6千円を計上しました。物集女財産区の財産維持管理経費や運営経費を計上したものです。

#### 下水道会計

下水道事業特別会計では33億4千万円を計上しました。清潔で文化的なまちづくりをめざし積極的に推進してきた下水道事業も、今年度はいよいよ総仕上げの年、また寺戸川流域の浸水防除事業10億円



個性ある道づくり

## 1人当たりでこれだけの金額に

市民の1人当たりの予算(一般会計)は245,878円です			
民生費	62,379円	消防費	12,111円
総務費	37,253円	議会費	5,210円
土木費	35,958円	労働費	3,425円
公債費	32,330円	商工費	2,641円
教育費	31,261円	農林水産業費	2,564円
衛生費	20,390円	予備費・諸支出金	356円

(平成7年4月1日現在推定人口53,014人)

市民1人当たりの市税	130,721円
市民税(個人)	57,483円
市民税(法人)	11,570円
固定資産税	47,634円
軽自動車税	550円
たばこ税	3,733円
都市計画税 特別土地保有税	9,751円